

2021年度 KCN京都 放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2021年10月7日（木）10:00～12:30

2. 開催場所

京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ交流棟5F 中会議室『ボルガA』

3. 委員の出席：委員総数 7名 / 出席委員数 5名

<出席者名（敬称略）>

会長 : 渡辺好章

副会長 : 大崎康弘

委員 : 池井戸睦男、渡辺紀子、出栗美紀子（順不同）

KCN京都：今里英之（代表取締役社長）、山崎理（常務取締役総務部長）、堀井裕高（経営企画部長）、
中島修（経営企画部課長）、加瀬由香利（経営企画部課長）

4. 報告

■ 協議事項

① 自主放送番組について

KCN京都自主制作番組である下記の2作品について意見を伺った。

(1) スイートなお散歩 #14 笠置編(2021年8月放送)

(2) Step #15 車いすランナー編(2021年2月放送)

作品：スイートなお散歩 #14 笠置編

- ・町おこしに頑張っている人が多い事を、番組を観て知ることが出来たのは良かった。
- ・町おこしに力を入れている前向きな人が多い事を知り、今後活気が出てきそうで行ってみたい。
- ・番組を町内の人の視点と町外の人視点とで観ていた。笠置町でのテレビ視聴サービス開始後に、町民も自分達が住む町がどのように紹介されるのか興味津々であったであろうし、町内に新しく出来た店舗の紹介等があったり、ドローンで町を上空から撮影した映像もあって、町民は面白く視聴出来たのでは。町外の人が見ても、おしゃれな店舗も出来ており、行ってみたいと感じた方が多いのではないかと。楽しく観られた。
- ・笠置駅から番組がスタートし、最後は、夜の笠置寺で終わるので、1日で散策できるような構成になっていたが、距離感や位置関係がわからない。その辺りの情報を掲載しても良かったのでは。
- ・銘菓として、どら焼きと雲海もちを紹介し、どら焼きを試食していたが、どの様な菓子か想像が出

来ない雲海もちの方を試食して欲しかった。

- ・ナビゲーターの方の視点が、町外の視聴者と同じ視点だったので、観ていて親しみやすさを感じた。
- ・ナビゲーター自身が、初めて訪れる町を楽しんでいる感じも共感が持てた。
- ・テレビ視聴サービスを開始したタイミングで、タイムリーな時期の放送であったが、タイムリーな点で取材をするのであれば、コロナ禍で苦しい状況が続いている飲食業、観光業等の方々を応援するような企画も是非、マスコミとして実施して欲しい。
- ・本作は#14だが、アーカイブを公開していないのか。テレビサービス加入者だけが視聴出来るのではなく、もっと広く、視聴出来る様にしてはどうか。アーカイブを公開することにより、時間と費用をかけて作った作品をテレビのみで一定期間だけ放送をしているのはもったいない。今後は考える必要があるのではないかな。
- ・高齢者もスマホを使用する人が増えてきた。スマホでNET 配信の動画やYouTube も、観始めている。コロナ禍により在宅時間が増えてはいるが、テレビを観る時間が増えた訳ではない。スマホ視聴を前提とした作品にしなければ、ならないのではないかな。
- ・番組をSNS で配信することにより、取材された側にも集客につながり、取材先から喜ばれるので、SNS の配信は必要ではないかな。
- ・世代が変われば、地域の事を全く知らない状態になる。番組のアーカイブをエリア内の図書館等で閲覧できる様にしてはどうか。
- ・番組を企画する際、地域に密着している企業が、地域を応援するような組織になって行かなければならない。単にコンテンツを作って提供するだけの時代は終わり、これからの社会に必要なものは何かと常に意識を持った上で番組制作をしていけば視点が変わり、社会にとって財産となるコンテンツが出来てくるのではないかな。

作品 : Step #15 車いすランナー編

- ・番組を制作している人の優しさが感じられた作品であった。
- ・ランナーの澤田さんはもちろんの事、彼女の周りのサポートしている人を含め、皆が一所懸命な様子を観る事が出来て、ほのぼのとした気持ちになれた所がよかった。
- ・多様性を受け入れる社会が求められている時代としても良い番組であった。
- ・澤田さんが障がい者だから取り上げたという訳でなく、頑張るアスリートの一人として取り上げ紹介している所が、人は個々で違うということを改めて意識して貰えるような番組であった。
- ・パラリンピックが開催され放送を観て感動はしたものの、選手個人の能力より、選手を支える器具の技術力の凄さが目についた大会で、自分たちの日常とはかけ離れ過ぎた感覚であったが、この番組を観てほっとした感覚になれた。普段の生活の中で、一生懸命頑張っている人がいる事を改めて認識させられた事は、よかった。
- ・取材を受け入れられた方もそのご家族の方も素晴らしいし、社会に貢献されようと活躍されている

方にスポットを当てて番組を作った会社も素晴らしい。

■ 報告事項

①2021年度自主制作番組企画について

2021年度のKCN京都ファミリーチャンネルの番組企画について説明を行なった。

以上